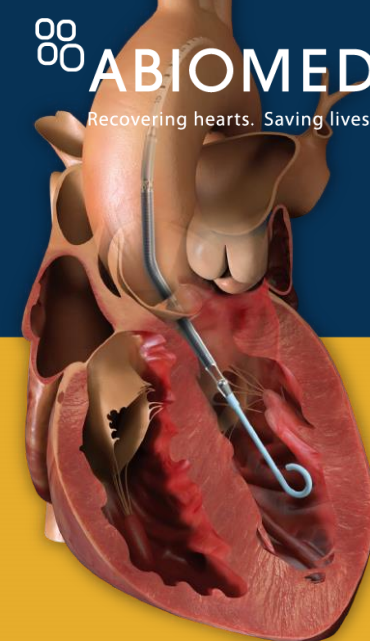


# Interventional Heart Failure Therapy Case Club



販売名：IMPELLA 補助循環用ポンプカテーテル  
医療機器承認番号：22800B2I00032000

## Director



絹川 弘一郎 先生  
富山大学



上妻 謙 先生  
帝京大学



佐藤 直樹 先生  
かわぐち心臓呼吸器病院

日時

2021年3月3日(水)  
18:00 - 19:15

会場

Zoom ウェビナー (事前登録制)

※ 本ウェビナーは、医療従事者を対象とした事前登録制セミナーです  
右のQRコードをクリックもしくは携帯カメラでスキャンして頂き  
事前参加登録・申し込みをお願いいたします

※ 視聴用URLなどの情報は、お申し込み確認後に、別途メールにて  
ご連絡いたします



## Moderator



朔 啓太 先生  
国立循環器病研究センター研究所



中田 淳 先生  
日本医科大学

Case 1

栗田 真吾 先生  
聖マリアンナ医科大学

Case 2

深町 大介 先生  
日本大学医学部附属板橋病院

※ 本ウェビナーに関するお問い合わせ  
日本アビオメッド株式会社 マーケティング部  
japan\_marketing@abiomed.com

## Interventional Heart Failure Therapy Case Clubのご案内

Impella は、心原性ショック等の薬物療法抵抗性の急性心不全を適応として、現在、既に2,000例を越える国内症例経験が蓄積されています。Impella は救命と心機能回復を目指して、様々な急性病態に使用されていますが、他の治療やデバイスと組み合わせることによって、より強力な血行動態の是正や救命が可能となる症例も存在します<sup>1,2</sup>。重症化の一途をたどる心不全医療において、既存の内科的・外科的治療とImpella をはじめとした最新デバイスを組み合わせる Interventional Heart Failure (IHF) Therapy は患者の予後改善とQOL向上に必要な不可欠となると考えられます。Impella を含む IHF Therapy の達成には、心不全治療、冠動脈・ストラクチャーインターベンション治療、循環器集中治療、外科的治療、機械的補助循環治療、循環生理学など、様々な領域の専門性が求められ、その知識や経験の蓄積は容易ではありません<sup>3,4</sup>。本ウェビナー (定期開催予定) では、各専門領域のエキスパートをお迎えして IHF Therapy の実践例をディスカッションすることで、Heart Recovery に取り組まれている医療従事者の皆様にとってよりよい IHF Therapy 提供の一助になればと考えております。

主催：日本アビオメッド株式会社

ABIOMEDロゴ、ABIOMED、Impella 2.5、Impella CP、Impella 5.0はABIOMED, Inc.の登録商標です  
IMP-2053 v1

1. Sobajima, Kinugawa, European Heart Journal - Case Reports, 2020. doi.org/10.1093/ehjcr/ytaa418  
2. Iida, Artif Organs, 2019 Aug;43(8):806-807. doi: 10.1111/aor.12434.  
3. Panhwar, J Am Coll Cardiol, 2020 Jun 16;75(23):2984-2988. doi: 10.1016/j.jacc.2020.05.010.  
4. Kapur, J Am Coll Cardiol, 2020 Jun 16;75(23):2987-2988. doi: 10.1016/j.jacc.2020.05.011.